

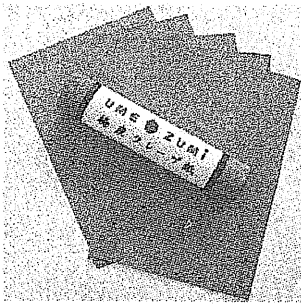
<第三種郵便物認可>

関西ビジネス

ロハス商品支援事業を開始

大阪府 第1弾は「梅炭クレール紙」

大阪府は、府内の中小企業が開発した環境・健康配慮型の商品を専門家がアドバイザーとして育成するプロジェクト「大阪LOHAS（ロハス）プロジェクト」をスタートさ



せた。第1弾として山陽製紙（大阪府泉南市）のリサイクル紙「梅炭クレール紙」＝写真＝を選定。販売、デザイン、広報の戦略を支援する。

LOHASは健康と持続可能な社会に配慮したライフスタイルを意味する。「梅炭クレール紙」は、和歌山県みなべ町で収穫された「南高うめ」の廃棄物である種を、備長炭の窯で炭化させた炭と古紙を混ぜて製造した

100%リサイクル紙。環境ホルモンの吸着や防カビ、調湿、消臭効果などが期待されている。

同プロジェクトの審査委員会（委員長・宮武和孝大阪府立大教授）で、6社が応募した商品の中から梅炭を選んだ。選定理由について、宮武委員長は「地域連携につながる環境配慮や、他の企業との連携の可能性など、幅広い分野への応用展開と、その市場の可能性に

期待した」と説明している。

プロジェクトのアドバイザーは販売戦略が小田哲也・アイキューブ取締役、デザイン戦略が野口総・ワイエス社長、広報戦略が高橋健三・スマイルマーケティングCEO（最高経営責任者）の3人が担当する。